

こどもたちといっしょに学ぼう！つながろう！

地域学校協働本部だより



調布市立北ノ台小学校
地域学校協働本部
学校支援ボランティア
令和2年8月4日発行

いろいろな制限はあるけれど、コロナに負けない！

みんなで「ごきげんな学校」にしていこう！

北ノ台小学校は、学校・家庭・地域のみんなが「ごきげんな学校」を目標にしています。
地域学校協働本部も、みんなで「ごきげんな学校」にするための「活動」をしています。



水でっぼうは、だれが一番かな？！



どろだんご、じょうずにできたよ！



みんなで大きな山と川を作ったよ！
山の上から水をながすよ！みんな見てね！



少しは「ごきげん」になれたかな？ どろんこ、水遊び大好き！

今年度の1年生は、入学式直後から緊急事態宣言による臨時休業で2ヶ月間も学校生活を送ることができませんでした。6月に入ってようやく学校が再開しましたが、初めは全学級を2グループに分け、一日おきに登校する分散登校。席も離れているので、みんな静かでした。地域学校協働本部の活動は、4月から感染拡大防止の観点から自粛しており、6月から1年生の補助に入るにあたり、戸惑いや心配がありました。そこで補助のメンバーを限定し、マスクの着用や手洗いの徹底などの対策をして、例年通り学校生活に慣れるまでの間、毎日1年生の教室に入りサポートしました。

長い自粛生活の中、いろいろな制限やプールの中止などで子供たちの楽しみが減っているので、子供たちに少しでも元気な時間を過ごして欲しいと砂場で泥遊びや水遊びが行われました。どろだんごを作ったり、水でっぼうで遊んだり、みんなで協力して大きな山や川、ダムなどを作ったりすると、子供たちに笑顔があふれていました。



子供たちが名付けた「あじさい街道」

ごきげんなさんぽ道「あじさい街道」

外出を控えている中、6月は雨の日が長く続きました。1年生の図工授業に入り、ハサミやのりの使い方を補助しました。出来上がったのは、色とりどりの見事なあじさいの花。作品を並べて貼っていたら、子供たちが「あじさいの道ができた！」なんてステキな想像力。

子供はいろいろなことを考え、学んでいると感心します。廊下はごきげんな散歩道になりました。

みんな、がんばれ！「ど根性ひまわり」

学校の花壇に栽培委員の子供たちと共に6月から育てているひまわりの花が咲きました。

東日本大震災の時に、花巻のがれきの中で元気に咲き、人々に勇気と希望をくれた「ど根性ひまわり」です。多くの人々に引き継がれ、今年は北小でも、学校事務でボランティアでもある金子さんが、少しでも子供たちやみなさんが元気になればと種をくれました。このひまわりのように元気にみんなでがんばりましょう。

ごきげんな菜園「やたべ農園」

子供たちが誰もいない4、5月の学校の畑に、ボランティアの矢田部さんの姿がありました。

春に野菜の苗を植え付けなければ、野菜は育たず、観察も収穫もできないということで苗を植え、手入れや草取りをしてくださいました。

日照不足の影響など感じられないほど、今では真っ赤なトマトや大きなキュウリなど夏野菜がたくさん収穫できています。

ごきげんな放課後「地域の赤ペンせんせい」

算数の基本的な学習内容を身に付けるため、金曜の放課後に2、3年生を対象とした算数補習教室があります。

学校の先生もいますが、学習支援員は、元教員や教員免許所持者などを中心に地域の先生が、赤ペンで○付けをしたり、児童のつまずきに答えたり、うっかりミスを指摘したりするなどの学習指導補助を行っています。

自分のペースでできて、先生がたくさんいてすぐに見てもらえると、前向きな子供たちです。



赤いトマトがおいしそう！



子供たちのやる気に先生たちも元気をもらいます！

北ノ台小学校「地域学校協働本部」では、学校・家庭・地域が連携し、協力して取り組みを進めています。今年の活動は、しっかりコロナ対策をして行っていきます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。